

(宮崎県商工会議所連合会共同事業)

宮崎県内企業景況調査報告書

(2009年7～9月期)

第54回

宮崎県商工会議所連合会

(幹事：宮崎商工会議所)

目 次

1. 実施概要
2. 調査結果（D I の推移）
3. 概況
4. 県内の景気動向
 - （1）前期比（平成21年4～6月との比較）
 - （2）前年同期比（平成20年7～9月との比較）
 - （3）来期見通し（平成21年10～12月の見通し）
5. 業種別の景気動向
 - （1）製造業
 - （2）建設業
 - （3）卸売業
 - （4）小売業
 - （5）サービス業（飲食関連・観光関連を含む）
6. 経営上の問題点
7. 今後の対応策
8. 国・県等への要望

1. 実施概要

(1) 回答率

調査対象企業数	500社
回答企業数	169社
回答率	33.8%
(業種別)	
製造業	57社
建設業	38社
卸売業	19社
小売業	22社
サービス業	33社
合計	169社

(2) 実施時期

平成21年7～9月期

(3) 調査内容

調査対象1四半期について前期比、前年同期比及び来期見通しについて、売上高（出荷額・受注額）、採算（経常利益ベース）、資金繰りの状況、仕入れ単価（資材、原材料、商品）、雇用（労働力）状況（含むパート）、設備投資計画、業況の各項目ごとに景況感を調査した。

(4) 調査対象

県内9つの商工会議所（宮崎・都城・延岡・日向・高鍋・日南・小林・串間・西都）の地域の実情を考慮して、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の5業種で合計500社を調査対象とした。

(5) 調査方法

県内9商工会議所において、それぞれの地域の調査対象企業へ調査票を送付し、回答を返信用封筒及びファクシミリで返信していただき、それぞれの商工会議所で行った調査結果を宮崎商工会議所専門経営指導センターにインターネットを活用して返信し、集計分析を行った。

2. 調査結果 (D I)

D Iとは (景況判断指数) とは

D Iは、売上・採算・資金繰り・仕入価格・雇用状況・設備投資・業況などの各項目についての、判断状況を表します。

ゼロを基準として、プラス値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味します。

売上D I = (増加回答の割合) - (減少回答の割合)

採算D I = (好転 ") - (悪化 ")

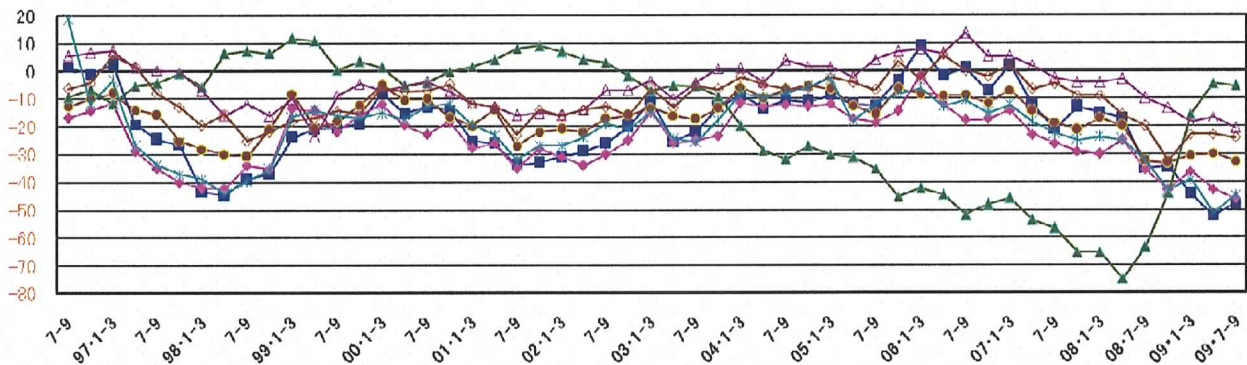
資金繰りD I = (好転 ") - (悪化 ")

仕入価格D I = (下落 ") - (上昇 ")

雇用状況D I = (不足 ") - (過剰 ")

設備投資D I = (拡大 ") - (減少 ")

業況D I = (好転 ") - (悪化 ")



前年同期比 (全企業D Iの推移)

	07/1-3	4-6	7-9	10-12	08/1-3	4-6	7-9	10-12	09/1-3	4-6	7-9
■ 売上	2.1	-12.4	-21.1	-13.1	-15.3	-17.4	-35.1	-34.5	-44.4	-52.3	-47.9
◆ 採算	-14.4	-23.0	-26.3	-29.2	-30.1	-24.5	-35.8	-42.9	-36.4	-42.9	-46.3
● 資金繰り	-7.2	-14.6	-18.6	-21.4	-16.9	-20.0	-32.5	-33.3	-30.6	-29.8	-32.7
▲ 仕入価格	-45.9	-53.9	-56.7	-65.5	-66.1	-74.8	-63.6	-44.3	-15.8	-4.6	-5.6
△ 雇用状況	5.2	1.7	-2.6	-4.2	-3.8	-3.2	-9.9	-13.5	-18.6	-16.9	-20.7
◇ 設備投資	2.1	-6.7	-4.6	-8.9	-9.3	-15.5	-19.9	-32.6	-23.0	-23.0	-24.2
* 業況	-12.4	-18.5	-22.7	-25.0	-24.0	-25.2	-32.5	-43.1	-39.3	-51.2	-44.9

3. 概況

「一部で景気対策効果が見られるも、回復は鈍く業況は依然低迷」

(1) 今期の特徴

今期のD I値は、前期比では「売上」「採算」「業況」の項目で、前回調査よりもマイナス幅が縮小した。前年同期比では、「売上」「採算」「業況」のD Iは、ほぼ横ばいであったものの、「資金繰り」のマイナス幅が拡大した。一部では、政府による景気対策の効果が見られるものの、依然として続く消費の低迷で、業況は依然として厳しい状況となっている。

(2) 来期の見通し

来期の見通しは、「売上」「採算」「仕入価格」「雇用状況」「設備投資」「業況」でマイナス幅が縮小の見込みであるものの「資金繰り」のマイナス幅が拡大する模様。

業種別では、製造業では、食品、印刷関連の一部では年末の季節的需要増が期待されるものの、円高基調による輸出関連の低迷が懸念される。建設業では、民間工事の受注競争激化、更には政権交代による工事見直し等が不安視されている。卸・小売・サービス業では、年末需要に期待が持たれるものの、依然として続く消費の低迷、更には新型インフルエンザの流行等に伴う社会不安も懸念され先行き見通しは不透明な状況である。

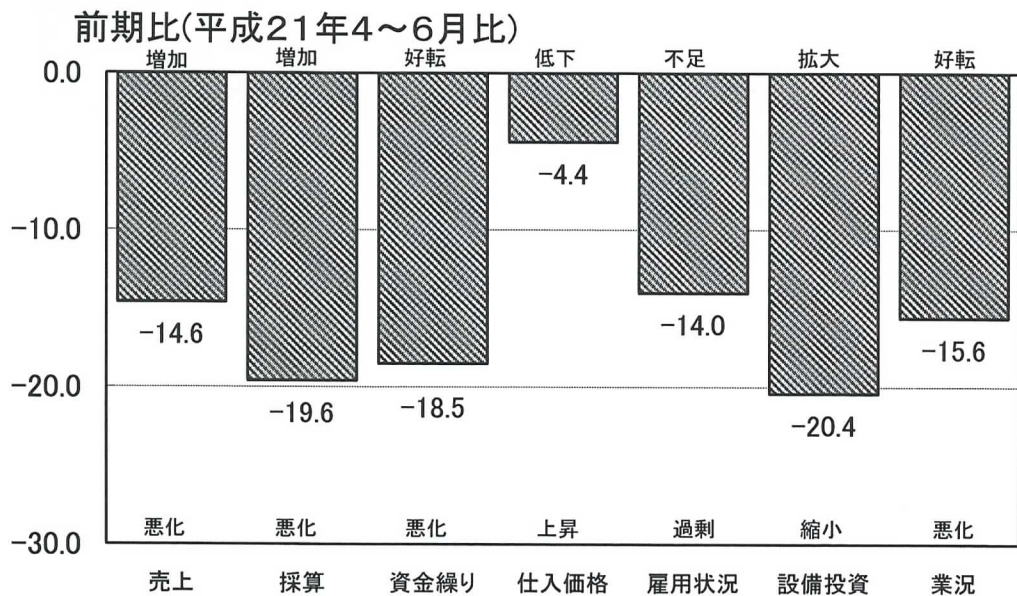
(3) 経営上の問題点

今回の上位順位は、1位に「需要の停滞」、2位に「製品（販売）単価の低下・上昇難」、3位に「県内大手企業の事業展開による競争の激化」と続いた。

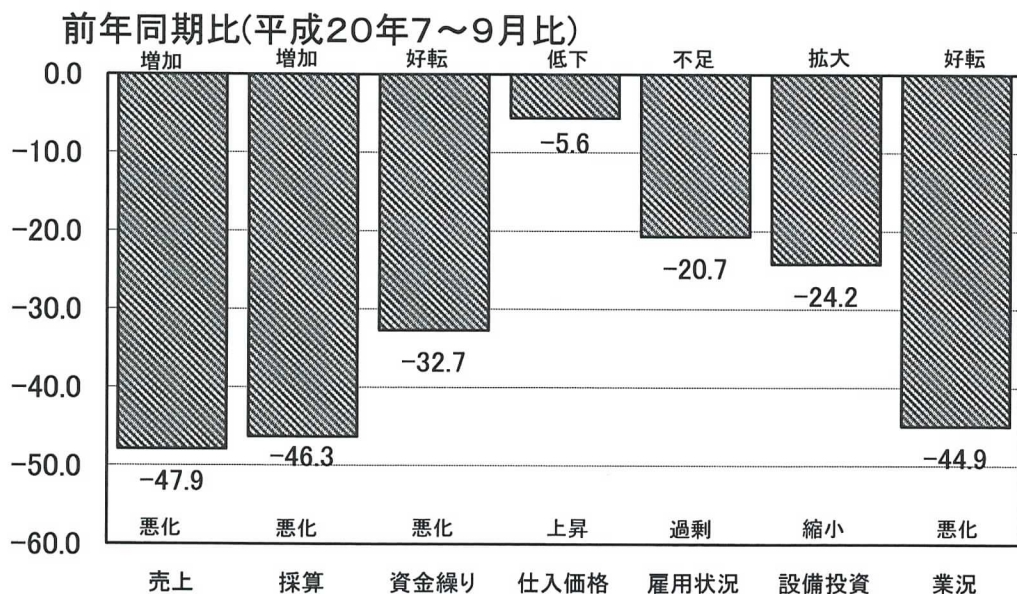
(4) 今後の対応策

今回の上位順位は、前回1位と2位が入れ替わり、1位に「新規市場を開拓したい」、2位に「その他の合理化を実施したい」となり、3位に「人件費を削減したい」と続いた。

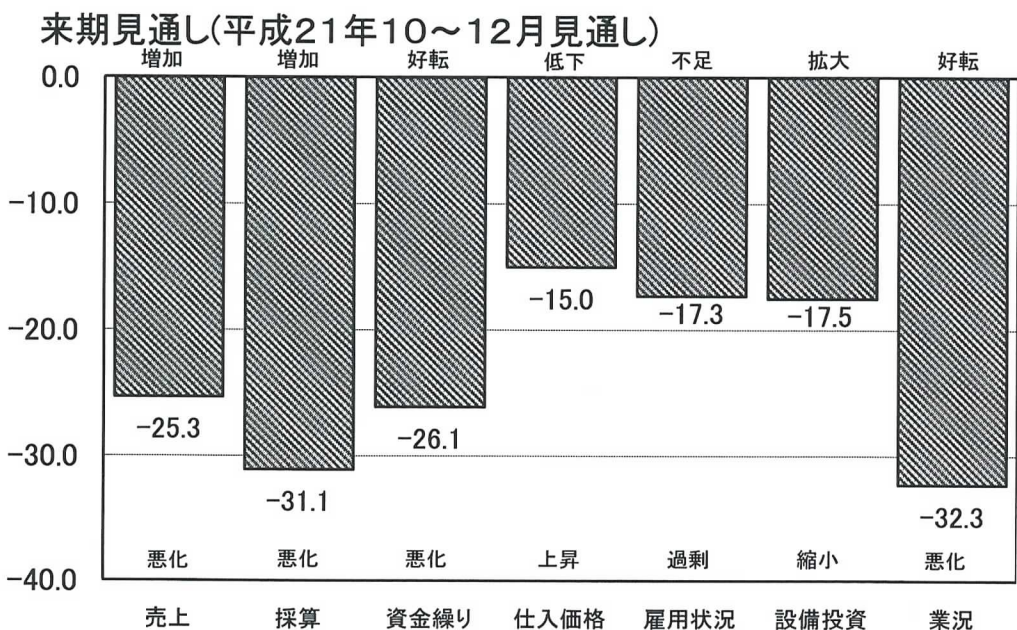
4. 県内の景気動向(全業種)



前期比DIは、前回調査と比較して売上・採算・業況ともにマイナス幅が縮小した。季節的要因に加え、建設業では公共工事の前倒し、小売業では政府の景気対策効果などの声も聞かれたが、個人消費は依然低迷しており、厳しい経営環境は否めない状況である。



前年同期比DIは、前回調査と比較して、ほぼ横ばいで推移した。世界経済の急激な減退に伴う消費の悪化で政府の景気対策効果に期待が持たれたが、昨年水準までの回復基調には戻れず、依然として業況は厳しい状況となっている。

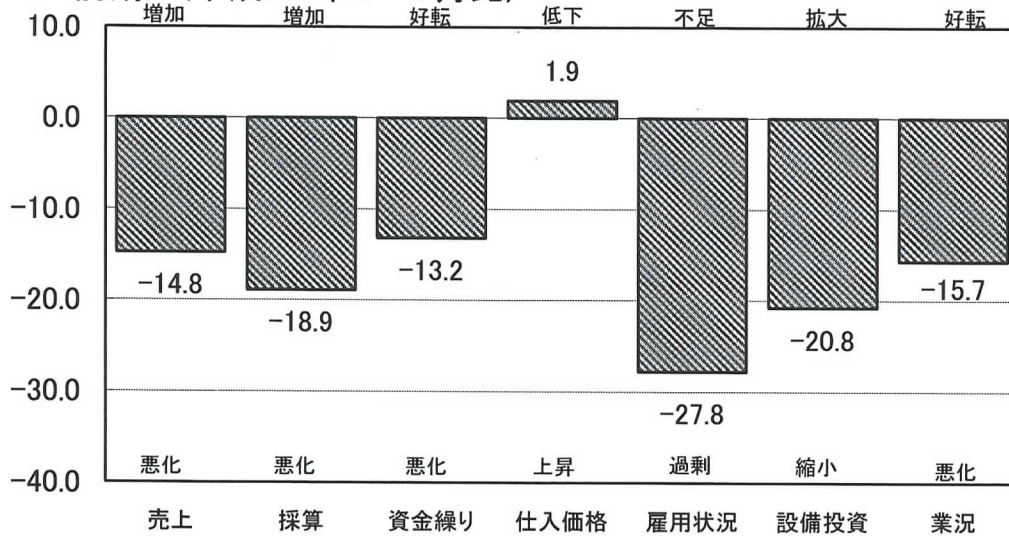


来期見通しDIは、前回調査と比較してマイナス幅は、ほぼ横ばいとなった。年末に向けての売上増加に期待が持たれるものの、依然として続く需要の悪化、更に新型インフルエンザの流行等による社会不安に伴う消費の低迷が懸念され先行きは厳しい状況である。

5. 業種別の景気動向

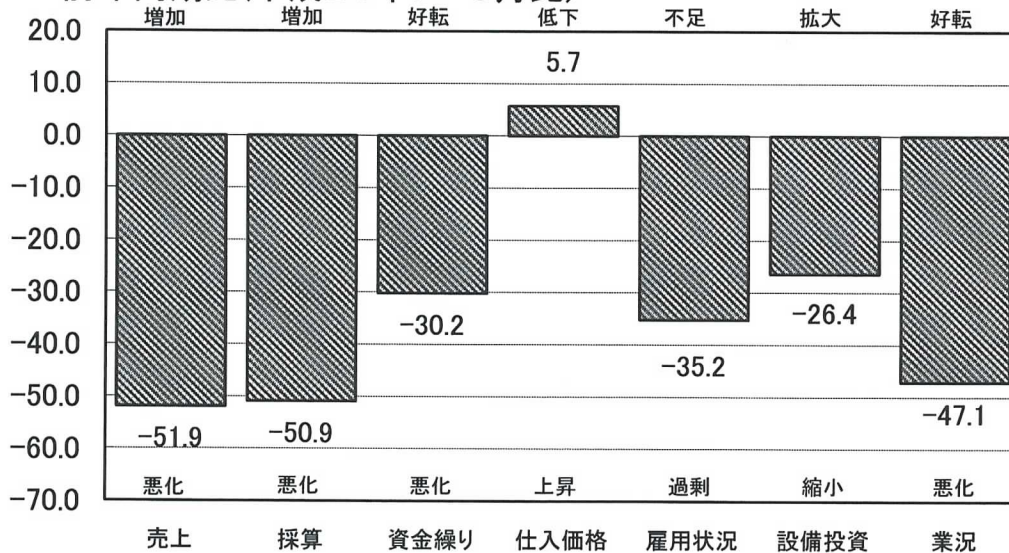
(1) 製造業

前期比(平成21年4～6月比)



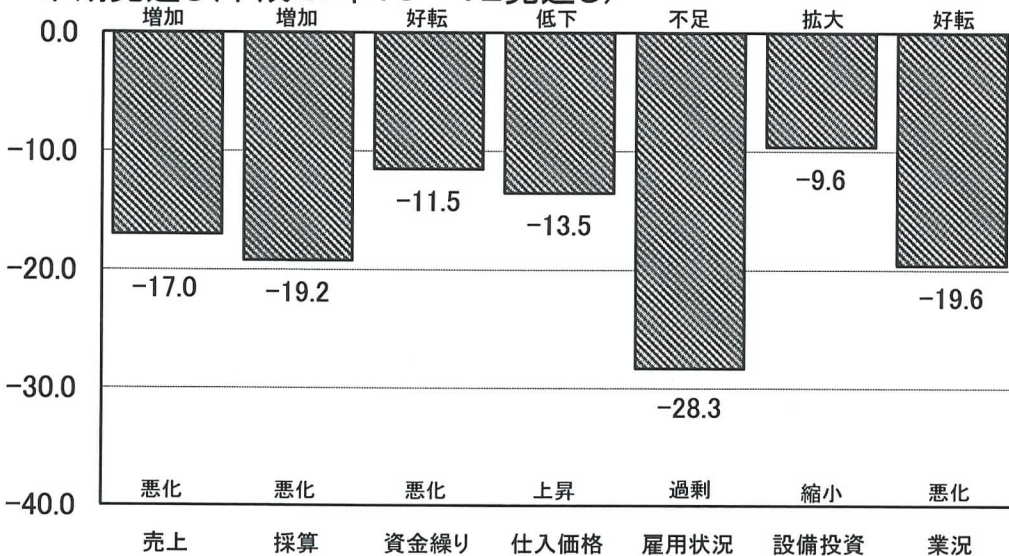
前期比DIは、前回調査と比較して、売上・雇用はマイナス幅が拡大し、その他の項目はやや改善された。「夏場の需要増」(清涼飲料水)、「生産量の増加」(自動車関連)など一部で好転の声が聞かれたが、受注改善には至っておらず依然厳しい状況となっている。

前年同期比(平成20年7～9月比)



前年同期比DIは、前回調査と比較して、売上・採算・業況でマイナス幅が拡大した。急激な経済悪化に伴う市場の低迷により受注が大幅に減少しており、製造業を取り巻く経営環境は依然として厳しい状況となっている。

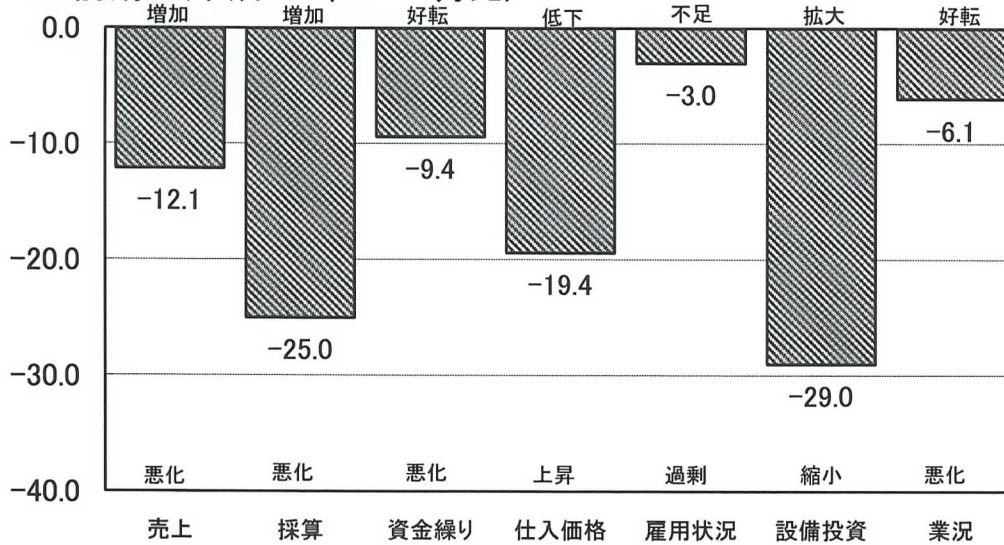
来期見通し(平成21年10～12見通し)



来期見通しDIは、前回調査と比較して、売上・採算・業況ともにマイナス幅が拡大した。食品・印刷関連の一部では年末需要に期待する声が聞かれるものの、円高基調による輸出関連の低迷、更には公共工事等の予算凍結も懸念され先行き見通しは厳しい状況である。

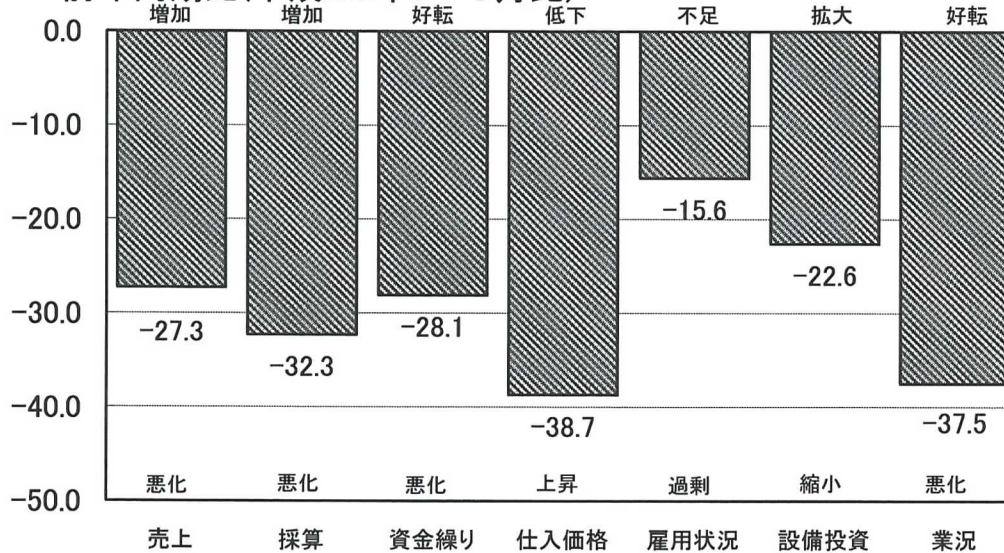
(2) 建設業

前期比(平成21年4～6月比)



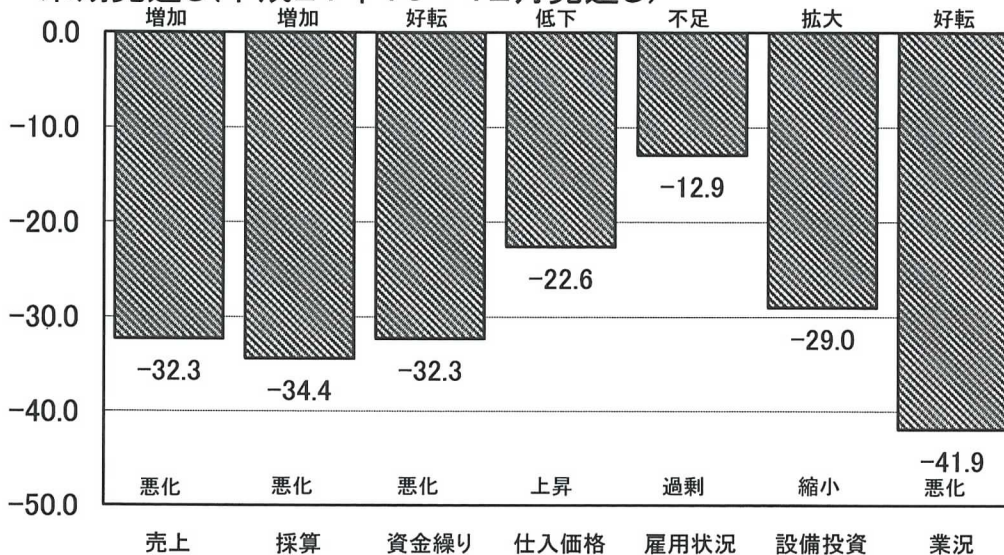
前期比DIは、前回調査調査と比較して、全項目でマイナス幅が改善した。公共工事の前倒しに伴い受注が増加したものの、民間工事の競争激化は依然として続いており、経営環境は楽観出来ない状況である。

前年同期比(平成20年7～9月比)



前年同期比DIは、前回調査と比較して、売上・採算・業況ともにマイナス幅がやや改善した。一部で公共工事の前倒しに伴う工事量の増加で受注獲得の声が聞かれたが、民間工事の競争激化に伴う受注単価の減少で、依然として厳しい業況は否めない。

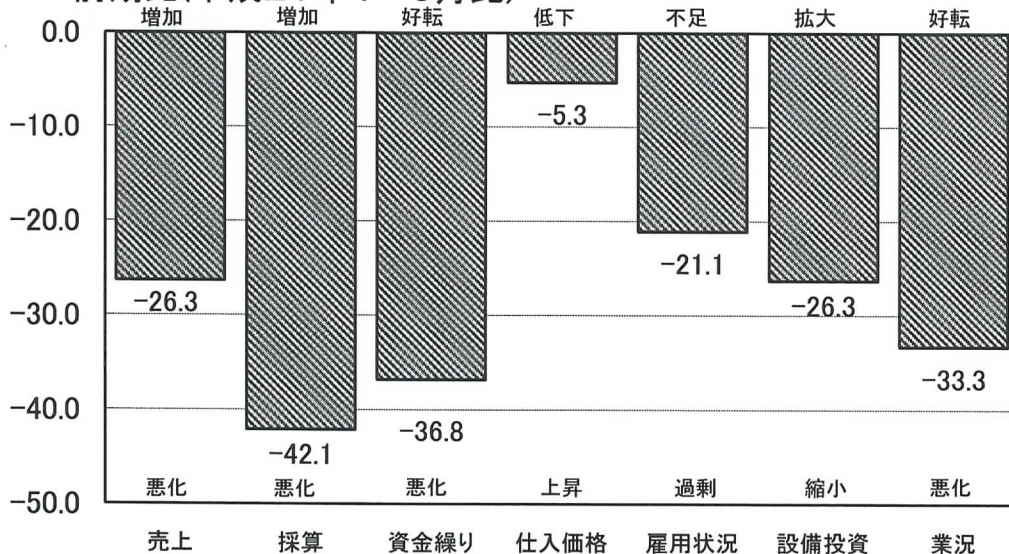
来期見通し(平成21年10～12月見通し)



来期見通しDIは、前回調査と比較して、マイナス幅は、ほぼ横ばいで推移した。年末から年度末にかけての受注増加に期待が持たれるものの、政権交代による予算見直し等の不安材料が懸念され先行きは依然不透明な状況である。

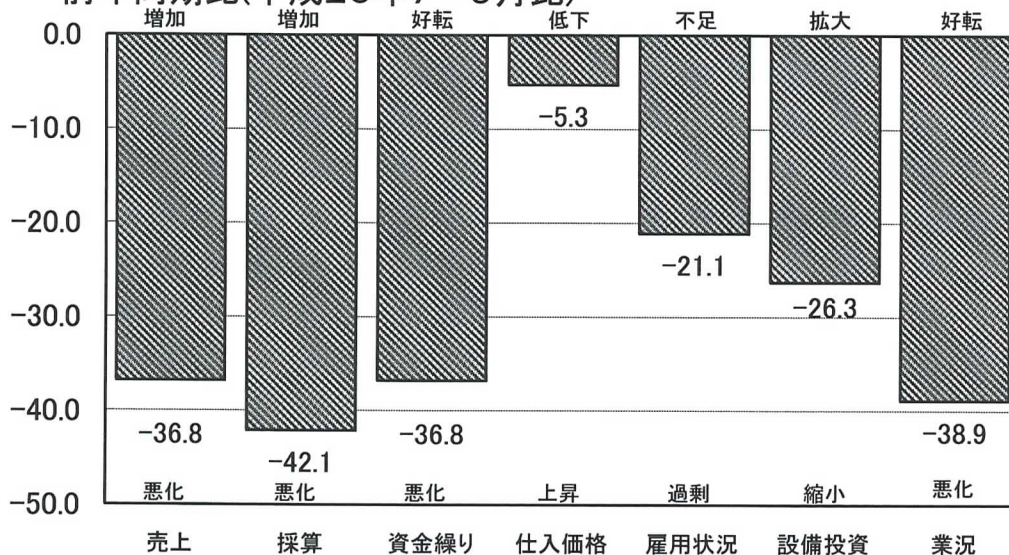
(3) 卸売業

前期比(平成21年4～6月比)



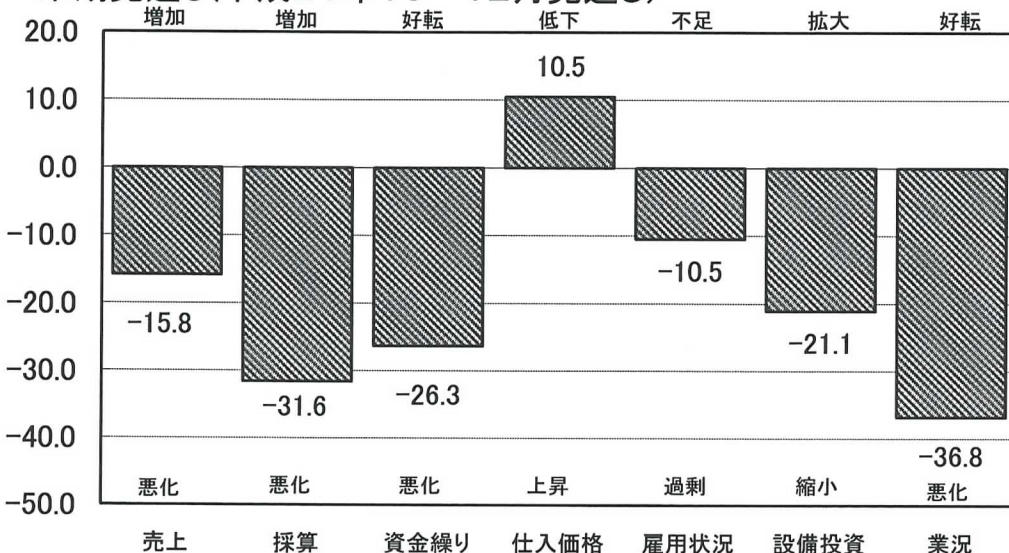
前期比DIは、前回調査と比較して売上のマイナス幅が改善したものの、採算・資金繰り・業況ともにマイナス幅が拡大した。食品関連の一部では中元商戦等の影響で売上増加の声が聞かれるが、消費の低迷により、業況は依然厳しい状況となっている。

前年同期比(平成20年7～9月比)



前年同期比DIは、前回調査と比較して、売上・雇用・業況はほぼ横ばいで推移したものの、他の項目はマイナス幅が拡大した。建築関連の低迷や依然として続く消費の冷え込みによる影響で、売上・採算ともに厳しい状況となっている。

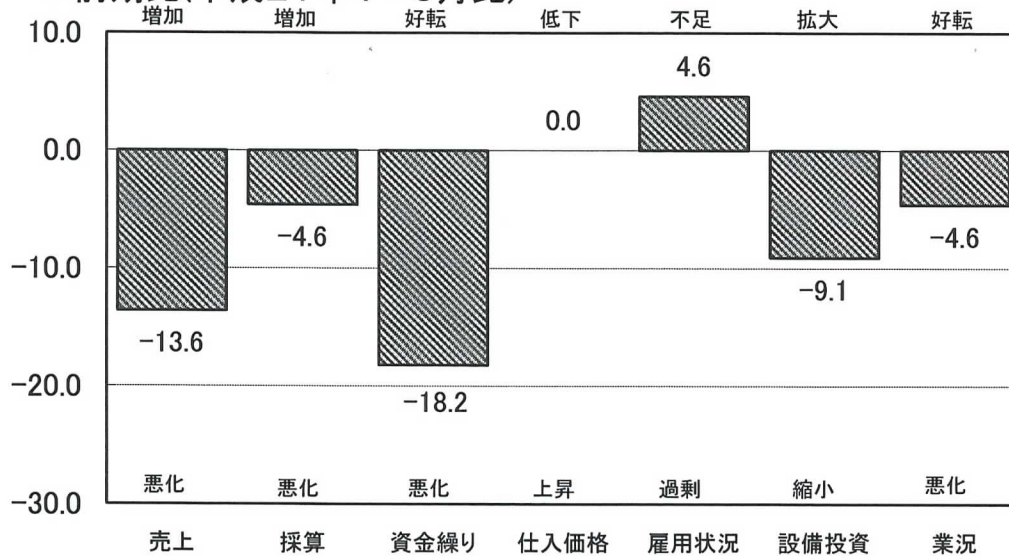
来期見通し(平成21年10～12月見通し)



来期見通しDIは、前回調査と比較して仕入価格は好転したものの、売上・採算・業況ともに悪化幅が拡大した。年末商戦に期待が持たれるが、消費低迷による需要悪化が懸念され、先行きは依然不透明な状況となっている。

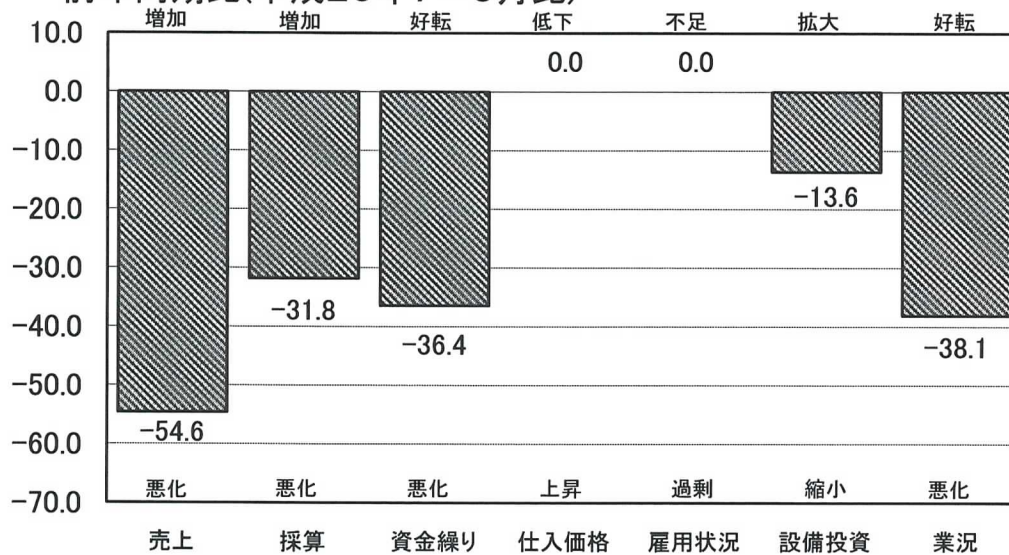
(4) 小売業

前期比(平成21年4～6月比)



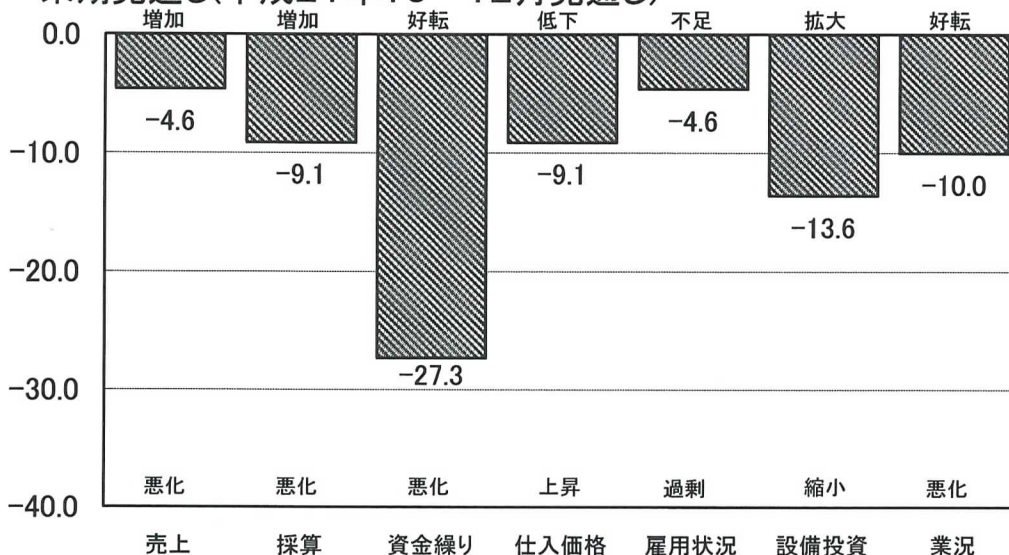
前期比DIは、前回調査と比較し、売上・採算・業況ともにマイナス幅が改善した。自動車関連の一部では、エコカー減税等の景気浮揚政策、飲料関連では季節的要因により改善が見られたが、消費の買い控えは依然続いており、厳しい経営環境となっている。

前年同期比(平成20年7～9月比)



前年同期比DIは、前回調査と比較して、売上・採算はほぼ横ばいとなったものの、資金繰りはマイナス幅が拡大した。政府の景気対策で一部改善が見られたが、昨年からの世界経済の急激な悪化に伴う消費の低迷は依然続いており、業況は厳しい状況となっている。

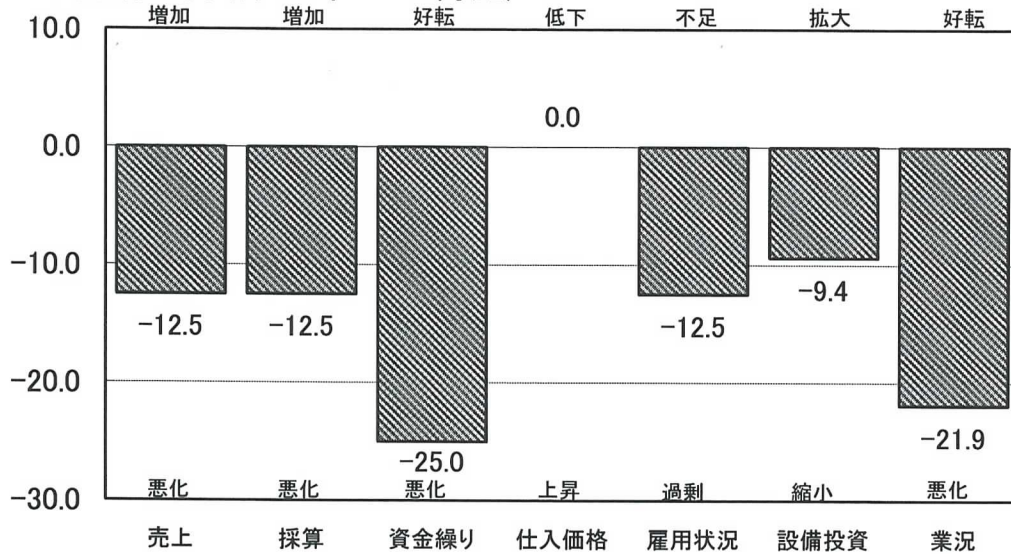
来期見通し(平成21年10～12月見通し)



来期見通しDIは、前回調査と比較して売上・採算・業況はマイナス幅が縮小したものの、資金繰りは大幅なマイナスに転じた。年末需要に期待が持たれるが、価格競争による利益の圧迫で資金繰りの悪化が懸念される。

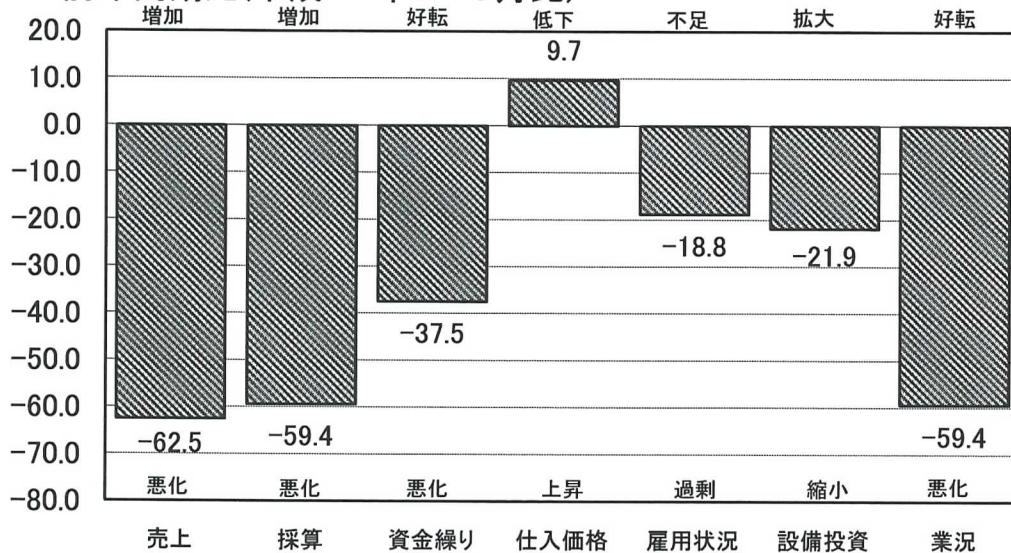
(5) サービス業(飲食関連・観光関連を含む)

前期比(平成21年4～6月比)



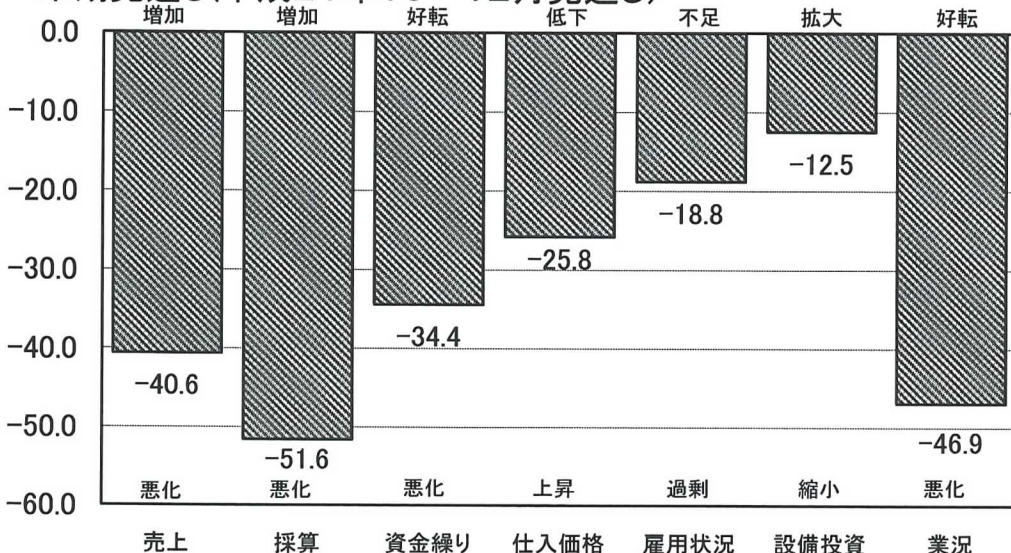
前期比DIは、前回調査と比較して、資金繰りを除きマイナス幅が改善された。観光関連の一部では夏休みなどの季節的要因で好転の声が聞かれたが、依然として需要は低迷しており業況は厳しい状況となっている。

前年同期比(平成20年7～9月比)



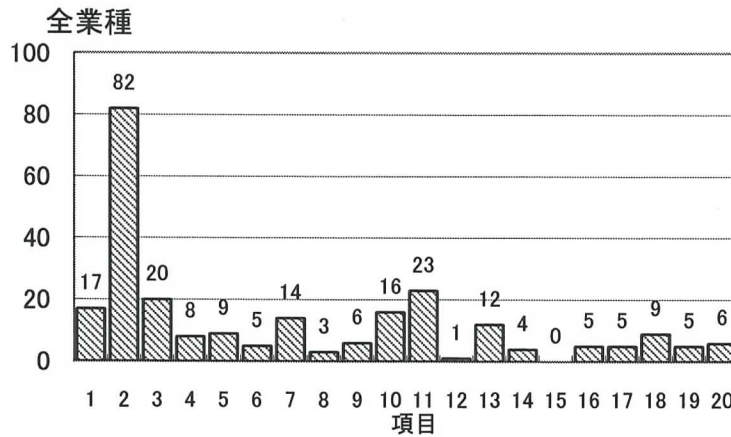
前年同期比DIは、前回調査と比較して売上・採算ともにマイナス幅が拡大した。一部で「シルバーウィークによる集客増」(ホテル)などの声が聞かれたが、「外食回数が減っている」(飲食)、「広告費削減」(放送)など、需要は依然として低迷しており厳しい経営環境が続いている。

来期見通し(平成21年10～12月見通し)



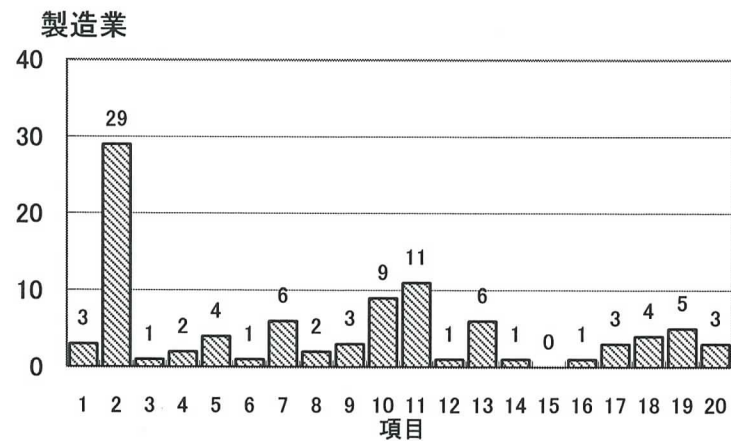
来期見通しDIは、前回調査と比較して売上・採算・業況共にマイナス幅が拡大した。年末需要に期待が持たれるものの新型インフルエンザの流行による社会不安など、更に消費が冷え込む要因が懸念され先行きは厳しい状況である。

6. 経営上の問題点



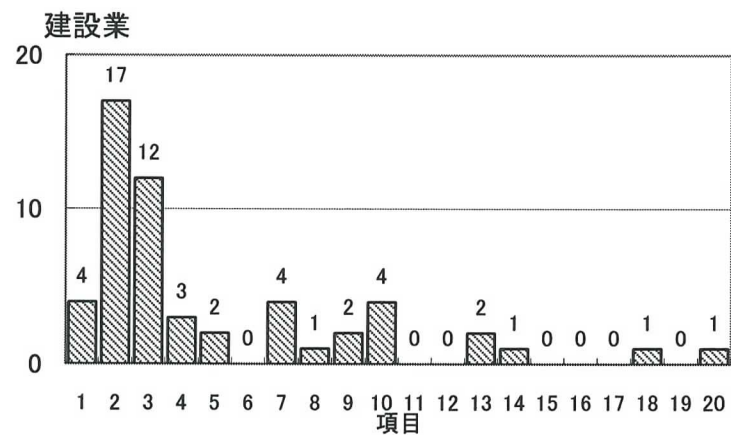
順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 3位 県内大手企業の事業展開による競争の激化
- 4位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 5位 人件費の増加



順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 3位 人件費の増加
- 4位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 5位 熟練技術者(従業者)の不足



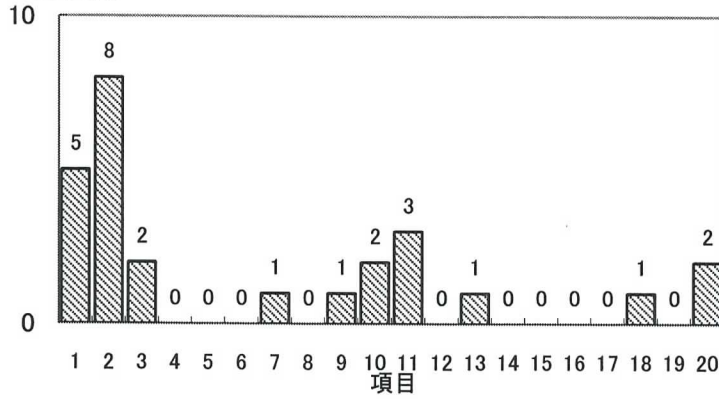
順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 県内大手企業の事業展開による競争の激化
- 3位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 4位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 5位 人件費の増加

項目一覧

- | | |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化 | 2. 需要の停滞 |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足 | 6. 製品ニーズの変化 |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇 | 8. 生産設備の過剰 |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加 | 10. 人件費の増加 |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難 | 12. 原材料の不足 |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足 | 14. 金利負担の増加 |
| 15. 従業員の不足 | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰 | 18. 取引条件の悪化 |
| 19. 円高による海外製品との競争激化 | 20. 代金回収の悪化 |

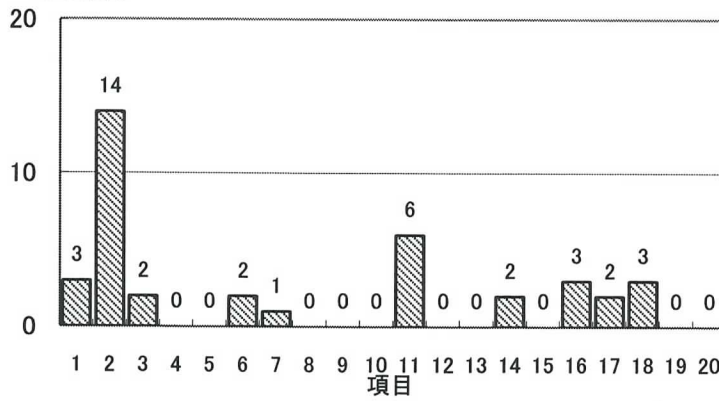
卸売業



順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 3位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 4位 県内大手企業の事業展開による競争の激化
- 5位 人件費の増加

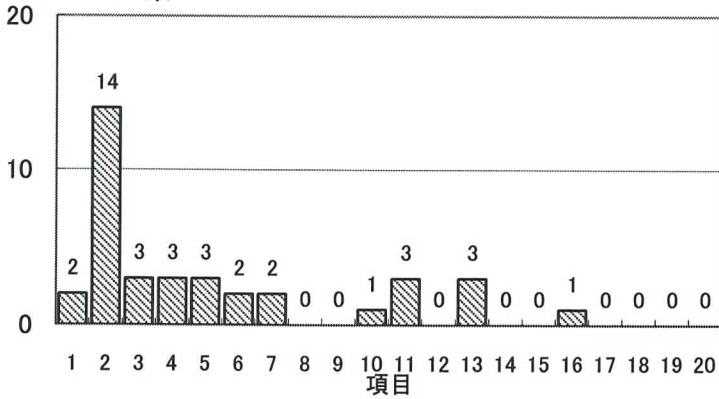
小売業



順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 3位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 4位 事業資金の借入難
- 5位 取引条件の悪化

サービス業



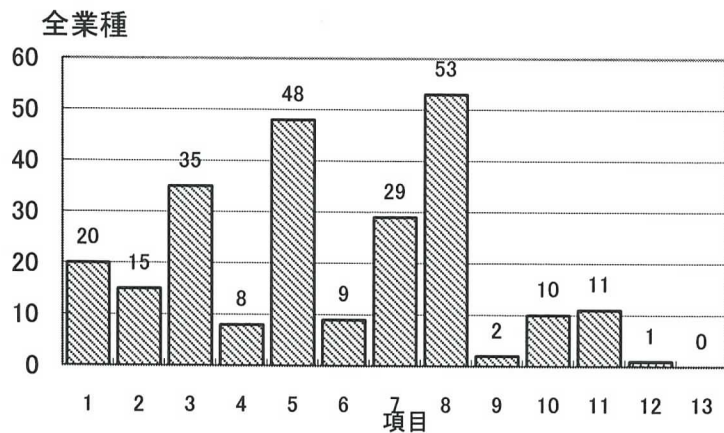
順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 県内大手企業の事業展開による競争の激化
- 3位 新規参入業者の増加
- 4位 生産設備の不足・老朽化
- 5位 製品(販売)単価の低下・上昇難

項目一覧

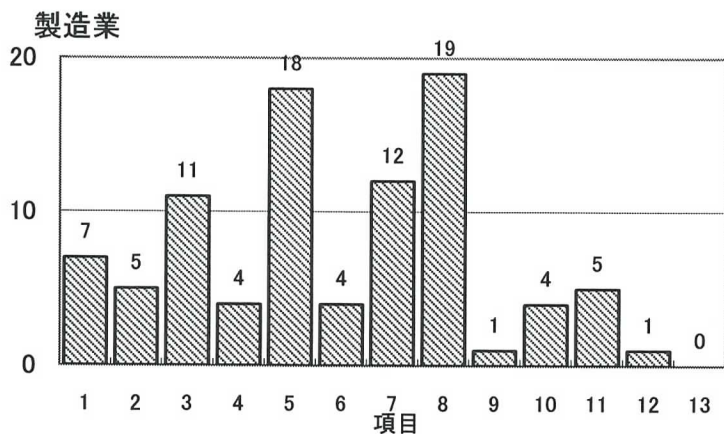
- | | |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化 | 2. 需要の停滞 |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足・老朽化 | 6. 製品ニーズの変化 |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇 | 8. 生産設備の過剰 |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加 | 10. 人件費の増加 |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難 | 12. 原材料の不足 |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足 | 14. 金利負担の増加 |
| 15. 従業員の不足 | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰 | 18. 取引条件の悪化 |
| 19. 円高による海外製品との競争激化 | 20. 代金回収の悪化 |

7. 今後の対応策



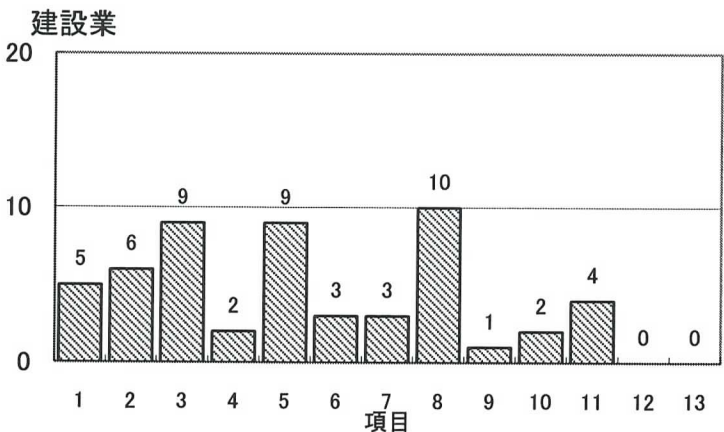
順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 人件費を削減したい
- 4位 新製品の開発を行いたい
- 5位 新規採用を見合わせたい



順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 新製品の開発を行いたい
- 4位 人件費を削減したい
- 5位 新規採用を見合わせたい



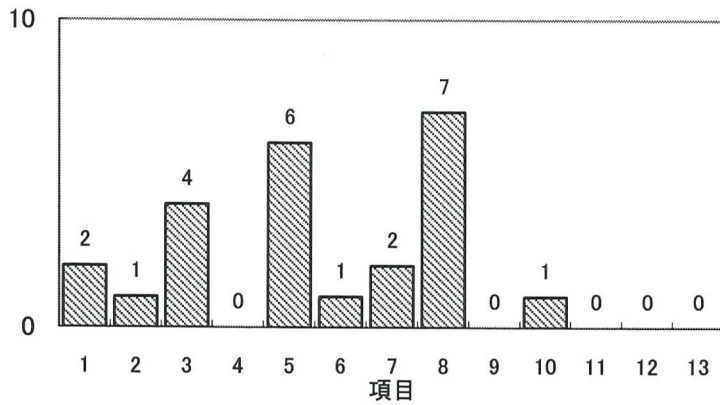
順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 人件費を削減したい
- 3位 その他の合理化を実施したい
- 4位 雇用調整を行いたい
- 5位 新規採用を見合わせたい

項目一覧

- | | |
|------------------------------|----------------------|
| 1. 新規採用を見合わせたい | 2. 雇用調整を行いたい（1を除く） |
| 3. 人件費を削減したい | 4. 生産調整を行いたい（操業短縮など） |
| 5. その他の合理化を実施したい（製造工程の簡素化など） | 7. 新製品の開発を行いたい |
| 6. 設備投資を縮小したい | 9. 業種転換を行いたい |
| 8. 新規市場を開拓したい | 11. 下請け発注を減らしたい |
| 10. 経営の多角化を行いたい | 13. 海外から原料・部品を調達したい |
| 12. 海外へ生産拠点を移したい | |

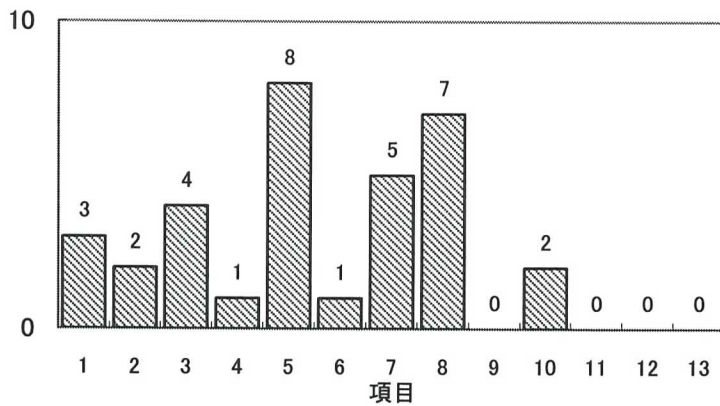
卸売業



順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 人件費を削減したい
- 4位 新規採用を見合わせたい
- 5位 新製品の開発を行いたい

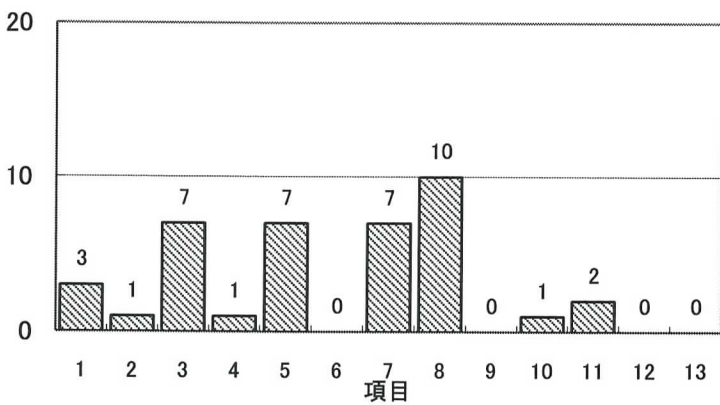
小売業



順位

- 1位 その他の合理化を実施したい
- 2位 新規市場を開拓したい
- 3位 新製品の開発を行いたい
- 4位 人件費を削減したい
- 5位 新規採用を見合わせたい

サービス業



順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 人件費を削減したい
- 3位 その他の合理化を実施したい
- 4位 新製品の開発を行いたい
- 5位 新規採用を見合わせたい

項目一覧

- | | |
|------------------------------|----------------------|
| 1. 新規採用を見合わせたい | 2. 雇用調整を行いたい（1を除く） |
| 3. 人件費を削減したい | 4. 生産調整を行いたい（操業短縮など） |
| 5. その他の合理化を実施したい（製造工程の簡素化など） | 7. 新製品の開発を行いたい |
| 6. 設備投資を縮小したい | 9. 業種転換を行いたい |
| 8. 新規市場を開拓したい | 11. 下請け発注を減らしたい |
| 10. 経営の多角化を行いたい | 13. 海外から原料・部品を調達したい |
| 12. 海外へ生産拠点を移したい | |

8. 国・県への要望

業種名	事業内容	略名	国県への要望
		都城	海外の食材に依存しすぎているのでは。日本の農業を最守すべきだと思っています。
		都城	公共工事による入札価格の最低価格の見直し。一般競争入札制度が導入され、落札した工事が赤字となるケースが多い。
		都城	物流の動きが停滞しており、早く予算の国会通過で経済活性化を図って欲しい
		都城	・現状の景気低迷は今後3年間は続くと思われるため、環境の変化に柔軟に対応する為にも業務や財務の「見える化」を図り健全な経営に努めてゆきたい
製造業	機械部品、金属加工	宮崎	雇用対策、景気回復に期待したい
製造業	鋼材加工販売	延岡	新政権の看板文句である公共事業削減は我々業界にとっては絶対に困る。需要回復に水を差す行為である。
製造業	機械器具製造	延岡	借入金返済の一時凍結を一刻も早く実施してほしい。
製造業	二酸化マンガン製造販売	日向	現政権のマニフェストは相当な無理があることが露呈したが、場合によってはそれには拘泥せず、現実的な政策に軌道修正も必要。
製造業	食品工業	日向	法人税率の減少で海外投資を呼び込み、需要喚起する。
製造業	コンクリート製品	日南	当社は関連子会社を含め14工場あるが、特に日南工場の業績が悪い。地元県南地区での需要が少なく県北・県外への移出でしのいでいる。規模もピーク時に比べ半分近くに縮小している。
製造業	金属加工業	日南	雇用調整補助金制度には助けられました。これがいつまで続くか心配です。
製造業	自動車専用部品製造	日南	当社は自動車産業で生計を立てています。2010年3月までのエコカー補助金の終了は業界としてかなり厳しい状況になる恐れがあります。補助金の延長を是非お願いいたします。来年自動車の売上が低迷するようなことになれば、従業員の雇用も守れません。是非お願い致します。
製造業	木材加工	日南	木材使用に対する規制緩和(特に消防法)
製造業	管工事・製造業	日南	減税等
製造業	各種印刷	小林	民主党に期待
製造業	焼酎製造販売	串間	地産地消「宮崎焼酎」を広域市場で積極的に宣伝願いたい。
建設業	鉄工全般精密機械	宮崎	中小企業への助成関連が見直し削減されているが実態を考慮して復活させて頂きたい。
建設業	建築工事業	宮崎	建設業界は建設投資が半分に激減しておりダンプの嵐が吹き大競争時代で大量の失業者の発生は目前であり大多数が地方で発生するとしたら雇用の吸収などどうしたらできるか疑問である。公共工事の役割を正しく評価し必要な投資を行なうことが是非とも必要である。
建設業	生コン製造 建設業	宮崎	連立政権、政府官僚の足並みが揃わない。何を決めるにも意見の統一が見られなく後れ後れになっている印象がある。それが世相や景気に悪い影響を与える。一貫した政策・舵取りを望む。
建設業	電気工事	延岡	諸官庁の工事発注に対し公告物件は減少する中で、施工実績条件等が限定される事と、又、実績の経年等に依り参画が不可能なケース(例:太陽光設備、トンネル照明設備工事等)が有り、状況、条件等の一考をお願いしたい。
建設業	建設業	日向	公共工事は民間の経済状況を見極め、市況の悪い時には早めに入札等を実行してもらいたい。このような要望等は貴団体でどのように取り組むのか知らせてほしい。
建設業	建築工事業(木造合)	高鍋	1.公共工事の落札率の上昇を望む2.単発の個人消費の増加ではなく、長期的な企業への設備投資を誘発させることで、全体の底上げを企てる可能となる施策を望む

建設業	建設業	日南	<p>税収の見込める事業、予算を考えて欲しい。新しい考え方も必要だが、今までとんでもないことをしてきたのか？よく考える必要があるのでは 首長や政権が変わって、大きく変わるのはどうですか？</p>
卸売業	食品卸売	日向	<p>民主党の内需偏重の経済施策に非常に不安感を持っております。今の日本の経済状況を考えますと、内需・外需両産業に刺激策を与え続けないと(少なくとも2010年いっぱい)回復は有り得ないと考えます。</p>
卸売業	焼酎製造業	小林	<p>減税、消費拡大策</p>
小売業	各種時計宝飾其の他	宮崎	<p>政府は景気対策を早くしてほしい。自民党は野党になったが中小企業に対する条令には早く通して欲しい。円高はデフレをもたらしているが少しはインフレに向ってほしい。金融対処法について我々小企業はためらいなく申し込みが出来て利用させてもらえるようにしてほしい。大企業のように借金の免除があるわけでもないの。</p>
小売業	写真カメラビデオ販売	宮崎	<p>まず早急な雇用対策を！若者が働ける場を作る。特にエネルギー関連(電力、ガソリン)、食糧関連(農業)、そして市街化活性化。大企業独占を一般に落とし込む。例、電力→ソーラー・水素バッテリーへ。原油・ガソリン→電気・ソーラー化へ。イオンモール等→市街の専門店へ。ギリギリでも沢山の人が働ける場を作っていく対策を。</p>
小売業	総合食料品スーパー	日向	<p>大手企業によるディスカウント策が売価の下落を招き、デフレ現象によるさらなる競争激化を招く。業界全体の発展を除外している。適正価格で販売できるように行政指導が出来れば良いと思うのだが。</p>
小売業	自動車販売整備	日南	<p>エコカー減税、新車購入補助金制度の延長を望む</p>
小売業	ガソリンスタンド	日南	<p>太陽光発電の補助を日南市にお願いしたい。今現在国が7万/kw、県が3万/kw(宮崎市は3万/kw、国富町3万~5万/kw)です。</p>
小売業	事務機、事務用品販売	小林	<p>地方の活性化ををして欲しい。</p>
小売業	飲食業	小林	<p>不景気で客単価がダウン。アルコール類が減少で利益率の減。金融機関に借入返済の猶予、政府保証など検討してもらいたい。</p>
サービス業	不動産売買・管理	宮崎	<p>非常に悪い。宮崎が悪くなったら首都圏はだいたい良くなり始めていたのが過去の通例でしたが、今は両極とも回復の兆しが見えていない。国・県も打つ手は限られ体力を失わないように努力しながら座して待つしかないのではないか。</p>
サービス業	喫茶&レストラン	宮崎	<p>何にせよ早急に対策を打たないと(景気回復策)冷え込む一方になりそう。小さな策では×で大きな大胆な施策が必要です。</p>
サービス業	クリーニング業	延岡	<p>良い材料もなく大変きびしい。新政権期待を寄せたいところだが、地方にとってはますますきびしくなるのでは？</p>
サービス業	ホテル飲食	日向	<p>現在、景気対策としては、何と言っても中小企業に従事する為の経済的、社会的地位の向上を図るには、現政府が提案しようとしている借入金、元利のモラトリアムも一策だ。日向市の本町、中町の商店街の早期着工実施には聞き飽きた。</p>
サービス業	レストラン	高鍋	<p>政権が変わったとはいえ、今後の見通しはまったくもって不透明。二年位は現況のままないでしょうか。小泉政権がこのせまい日本、資源のない、知恵と努力でここまで来た日本に暗い影を落としたといえる。大消費文化、経済の米国と同じように消費におぼれては、日本沈没でしょう。もったいない文化の復活が子供から大人までのぞまれます。</p>
サービス業	ホテル	日南	<p>固定資産税の見直し</p>